

会社案内

CORPORATE GUIDE 2025 – 2026

2025年10月 改訂



国分西日本株式会社

<https://www.kokubu.co.jp/nishinihon>



代表メッセージ



代表取締役社長執行役員

川野 政治

国分西日本は、300年を越える国分のナショナルホールセラー機能を備えし、食の流通に携わっている会社です。管轄エリアは近畿地区、中四国地区の計2府13県と大変広範囲となります。

ご存知の通り、当エリアは、様々な文化、様々な風習そして様々な食文化があり、それを育んだ独特の風土と長い歴史がございます。

私たち国分西日本は、その地域食文化の多様性に対応すべく、会社と社員が共に『地域密着 全国卸』として、地域に根付いた商品の開発や調達、物流、そして売場提案を遂行し、当社に係わる全ての方にご満足いただくことを使命としております。

この様に多様性のあるエリアを管轄する会社ですが、だからこそ私たちは「社員一人ひとりの自主性」と「会社は社員を大切にし、社員は会社を大きくしていく」ことを育んでいきたいと考えております。

これからも社是の「信用」を大切にし、企業理念である「継続する心・革新する力」を実践してまいります。

役員

川野 政治 代表取締役社長執行役員

山崎 佳介 取締役（非常勤）

鈴木 嘉一 取締役（非常勤）

柄 秀典 監査役（非常勤）

小木曾 泰治 監査役（非常勤）

中村 道宏 専務執行役員 フードサービス事業部長

谷垣 伸介 常務執行役員 中四国支社長

山下 景太 執行役員 物流・システム部長

岡野 倫弘 執行役員 量販事業部長

長井 幸二 執行役員 人事総務部長

社是・企業理念・平成の帳目

国分グループは流通の中核を担う「問屋」の立場から、メーカー・小売業・生活者のそれぞれのお客様のニーズを真摯にみつめてきました。メーカーと小売業の中間に位置する私たち卸は、その結節点として、サプライチェーン全体を俯瞰し、双方を繋ぎ、協力・協働することで、付加価値を生み出す最適流通を構築してまいりました。これからも社是の「信用」を大切に、次の100年に向け、ゆたかな未来を創ってまいります。



社是

信用

国分の不变の経営哲学であり、国分の企業文化の根底にあります。
グループ全社員の行動のよりどころです。

企業 理念

継続する心・革新する力

300年間紡いだ商いを、次世代に繋げていく。
私たちは食を通じて世界の人々の幸せと笑顔を創造します。

行動憲章 行動規範

平成の帳目

国分には創業期より「会社の決まり」を成文化した「帳目」が存在します。
社是である『信用』を守り続けていくための行動指針です。

平成の帳目～国分行動憲章～

1. 私たちは、「信用」を第一に、行動いたします。
2. 私たちは、高い品質の商品・サービスの提供を通じて、社会に貢献いたします。
3. 私たちは、たとえ利益を生むことであっても、見かけ商いをいたしません。
4. 私たちは、常に礼儀をわきまえ、人と人との和を大切に、公平で公正な行動をいたします。
5. 私たちは、全ての人の基本的人権を尊重し、差別や個人の尊厳を傷つける行為をいたしません。
6. 私たちは、法令やルールを遵守いたします。
7. 私たちは、環境保護活動に積極的に取り組みます。
8. 私たちは、会社の有形・無形の財産を守ります。

平成14年2月28日

会社概要

社名	国分西日本株式会社 (KOKUBU NISHI-NIHON CORP.)
所在地	〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1-8-30 OAPタワー14階
代表者	代表取締役社長執行役員 川野政治
設立	1951年（昭和26年）10月8日
資本金	500百万円
事業内容	酒類・食品・関連消費財にわたる卸売業及び流通加工、配送業務、貿易業、不動産賃貸借業、他
売上高	359,385百万円（2024年12月期）
従業員数	590名（2024年12月31日現在）

沿革

国分西日本の沿革

1938年 (昭和13年)	
1967年 (昭和42年)	
1972年 (昭和47年)	(株)檜垣商店 (後のヒガキ国分(株)) と資本提携
1977年 (昭和52年)	
1986年 (昭和61年)	三島食品(株) (後の愛媛国分(株)) と資本提携
1991年 (平成3年)	
1992年 (平成4年)	(株)八百秀と提携。新会社(株)八百秀を設立
1993年 (平成5年)	(株)八百秀を四国国分へ商号変更／坂口物産と提携し中国国分(株)を設立
1999年 (平成11年)	松下酒類卸(株)と共同で(株)松下を設立
2000年 (平成12年)	(株)松下を兵庫国分(株)へ商号変更 ヒガキ国分(株)と中国国分(株)が合併し西中国国分(株)へ商号変更
2001年 (平成13年)	(株)中井本店と共同で中井国分(株)を設立 島根酒類販売(株)と提携し、山陰国分(株)を設立 四国国分(株)に愛媛国分(株)を統合
2003年 (平成13年)	(株)サンリックと提携し、(株)サンリックをサンリック国分(株)に商号変更
2005年 (平成17年)	四国国分(株)と池田国分(株)を統合
2006年 (平成18年)	酒類問屋の足統(株)と提携し足統国分(株)を設立
2007年 (平成19年)	京都酒類流通(株)と提携し、京都国分(株)を設立
2008年 (平成20年)	(株)ワイネットと提携
2009年 (平成21年)	(株)ワイネットを関西国分(株)へ商号変更／山陰国分(株)と足統国分(株)を統合
2011年 (平成23年)	関西国分(株)と京都国分(株)が合併
2013年 (平成25年)	関西国分(株)と兵庫国分(株)と中井国分(株)が合併／四国国分(株)と(株)福村を統合
2014年 (平成26年)	関西国分(株)と(株)ヒメカンが合併
2015年 (平成27年)	サンリック国分(株)と西中国国分(株)・東中国国分(株)・山陰国分(株)が合併、 国分西日本(株)へ商号変更
2016年 (平成28年)	関西国分(株)に、国分西日本(株)・四国国分(株)を合併 同時に国分(株)近畿支社と中国支社の営業を譲受し、国分西日本(株)に商号変更
2021年 (令和3年)	国分フードクリエイト(株)近畿・中四国エリアの低温卸売事業を統合
2022年 (令和4年)	冷菓卸売業の(株)クサヤを統合

国分グループ本社の沿革

(合)国分商店 大阪出張所開設

(株)国分商店 広島出張所開設

大阪出張所を国分(株)大阪支店に組織変更

大阪支店を国分(株)近畿支社に組織変更

国分のあゆみ

国分 300余年の歩みは、日本の「食」の流通の歴史です。

1712年	国分グループ本社(株)創業 四代國分勘兵衛が、江戸・日本橋に「大國屋」の屋号で店舗を構える 創業時は呉服を手掛けるとともに、土浦に醤油醸造業所を設ける	2005年	資本金を35億円に増資 首都圏で最初の大規模流通センター「八潮流通センター」が稼動
1756年	土浦で醸造した醤油に「亀甲大」のマークをつけ販売	2006年	業務標準化を目的とした業務・会計系システムKMSを導入
1859年	八代勘兵衛、製茶貿易に乗り出す	2007年	医薬品卸の(株)大木、東邦薬品(株)と業務提携
1880年	醤油醸造業を廃止し、広く食品販売を主とする卸売業を開始	2008年	水産物卸売業の大都魚類(株)と業務提携
1887年	食料品・缶詰の販売開始	2010年	中国での物流事業・卸事業の合弁会社三通国分商貿（青島）有限公司を設立 双日(株)とベトナム食品流通分野で業務提携 「K&K 缶つま」シリーズ発売開始
1888年	ビールの販売開始	2011年	国内最大手の青果物卸売会社の東京青果(株)と業務提携 本社ビル1階に「ROJI 日本橋」をオープン
1894年	桐印を商標登録	2012年	創業300周年 Huong Thuy Manufacture Service Trading Corporationをグループ化し、ベトナムで卸ビジネスを開始
1908年	K&Kを商標登録	2013年	食品専門分析機関のユーロフィンQKEN(株)（旧・(株)キューサイ分析研究所）へ出資 濰坊三慧物流有限公司（中華人民共和国山東省）をグループ化し、中国で卸ビジネス開始
1909年	「味の素」の販売開始。以降、「カルビス（1919年）」、 合成酒「リ休（1926年）」も販売開始	2014年	ミャンマーで低温物流ビジネスを開始 上海国分商貿有限公司（中華人民共和国上海市）を設立
1910年	『國分商報』を発刊	2015年	上海峰二食品有限公司（中華人民共和国上海市）をグループ化
1917年	1.8リットルの醤油瓶詰の販売開始	2016年	7つのエリアカンパニー、2つのカテゴリー・カンパニー、およびヘッド クオーターカンパニーに、国内卸売業の組織を再編。ヘッドクオーター カンパニーの国分(株)は国分グループ本社(株)に社名変更 Texchem Restaurant Systems（マレーシア）とマレーシアにおける 低温食品物流事業を展開する合弁会社Kokubu Food Logistics Malaysia Sdn. Bhd.を設立 上海悦思意食品有限公司を設立し、中国における給食・外食事業に参画
1923年	関東大震災により店舗を消失、被災後直ちに復興に着手 生活必需品である醤油の供給に尽力	2017年	代表取締役会長 兼 CEO 國分 勘兵衛、代表取締役社長執行役員 経営統括本部長兼 COO 國分 晃 新体制がスタート 国分ビジネスエキスパート(株)を設立 Focal Marketing Sdn.Bhd.をグループ化し、マレーシアで卸ビジネス を開始
1928年	横浜出張員詰所を開設	2018年	りゅうせき低温物流(株)をグループ化し、沖縄で低温物流を開始 K&Kブランド製品の賞味期限を「年月日」から「年月」表示へ移行を開始 国分フレッシュリンク(株)を発足し、生鮮卸ビジネスを強化 Commonwealth KOKUBU Logistics Pte Ltd.を設立し、 シンガポールで物流事業を開始
1931年	第一ビル（旧・日本橋本社ビル）落成	2019年	ワインインポーターの(有)ヌーヴェル・セレクションをグループ化し、 ファインワインのラインアップを強化 関西総合センターを開設し、全国の三温度帯物流ネットワークが完成￥
1938年	大阪出張所を開設	2020年	オープンイノベーションプログラム『国分グループアクセラレーター 2020』を実施 「SDGsステートメント」を策定 Kokubu Food Logistics Malaysia Sdn. Bhd.がクアラ・ルンプール郊外 で4温度帯物流センターを稼動
1945年	札幌出張所を開設	2021年	第11次長期経営計画がスタート。サステナビリティ委員会を発足
1947年	現・国分グループ本社(株)の基となる國分漬物(株)を設立	2022年	創業310年 国分グループ人権方針を策定 国分グループ健康宣言
1950年	(名)国分商店と國分漬物(株)を合併、(株)國分商店となる	2023年	グループ連結売上高が2兆円を達成
1957年	福岡連絡所を開設	2024年	独自の生成AI「KAIWA」を導入し、業務を効率化
1961年	名古屋出張所を開設		
1962年	仙台出張所を開設		
1965年	コンピュータ（IBM1440）導入		
1967年	広島出張所を開設		
1971年	(株)國分商店から国分(株)に社名変更 第1次長期経営計画スタート		
1975年	本社ビル（現・日本橋本社ビル）落成		
1978年	国分グローサーズチェーン(株)（KGC）設立		
1981年	チルド食品の自社物流開始		
1994年	一括受注、一括配送の物流システムである3ODシステムを構築		
1995年	全社に電子メール導入		
1999年	国分グループ共有の情報系システム「KOMPASS」稼動		
2000年	単体売上高1兆円を達成		
2001年	フルライン体制構築を目指し、菓子卸事業を開始		
2002年	創業290周年 国分の行動憲章・行動規範である「平成の帳目」、国分グループの コミュニケーションマークを制定		

国分グループ連結業績

連結業績

カッコ内は構成比（単位：百万円）

科 目	金 額	売上比	前年比
売上高	2,157,375	-	104.3%
(食品)	1,418,101	(65.7%)	104.8%
(酒類)	641,693	(29.7%)	102.8%
(その他)	97,580	(4.5%)	106.4%
売上総利益	155,596	7.21%	106.4%
販売費及び一般管理費	133,086	6.17%	105.6%
営業利益	22,510	1.04%	111.3%
経常利益	27,396	1.27%	113.2%
当期純利益	17,448	0.81%	109.9%

（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

部門別売上高

（単位：百万円）

部 門	売上高	構成比	前年比
加工食品	892,644	41.4%	102.9%
冷凍・チルド	467,192	21.7%	108.2%
菓子	58,264	2.7%	108.9%
食品合計	1,418,101	65.7%	104.8%
酒類	347,865	16.1%	105.3%
麦酒	191,354	8.9%	105.1%
ビアテイスト（麦酒除く）	102,473	4.7%	91.7%
酒類合計	641,693	29.7%	102.8%
その他合計	97,580	4.5%	106.4%
合 計	2,157,375	100.0%	104.3%

（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）